

# 新庁舎整備検討状況の市民への説明および検討過程での市民参画を求める請願書

2018年6月8日

明石市議会

議長 穂原成人様

請願者 政策提言市民団体 市民自治あかし

## 請願の趣旨

明石市議会は昨年5月から新庁舎整備検討特別委員会を設置し、市が進めている市役所本庁舎の建て替え整備について審議されています。また、市は2016年12月議会に新庁舎建設基本構想の素案を報告し、2017年3月に新庁舎基本構想を議会に報告し公表しています。その後、当初の「現在地を含めた候補地4カ所案と分散配置案」から「西明石を除く3カ所案および明石駅周辺とJT跡地の分散配置案」の4案に絞られるなど、いつの間にか市民の知らないところで計画づくりが進んでいます。

また、今年1月には新庁舎整備検討に関する有識者会議も設置され、5月には2回目の会議が開かれています。市は今年12月には基本計画の骨子案を取りまとめるというタイムスケジュールを議会に説明されており、市役所本庁舎の移転を含む新庁舎建設の計画がいつの間にか市民の知らないところでどんどん進んでいることは、自治基本条例で「参画と協働」「情報の共有」を市政運営の原則と定めた自治体としてはどう見てもおかしい展開になっています。

新庁舎の整備検討に関する情報を市民に説明するとともに、検討過程での市民参画を求める請願は、一昨年9月議会にも提出しましたが、当時はまだ基本構想の素案もできていない段階でした。しかし、その後計画は大きく進展しています。基本計画策定へ向けての進め方として、市は基本構想の中で「計画段階で市民への説明会を開催する」ことを挙げていますが、基本構想の素案が示されてから1年8カ月、基本構想が公表されてから1年3カ月を超えても、なお市民への説明や市民の意見を聴く場を明らかにしていません。

市議会におかれましては、以上の経緯を踏まえて、市に対して速やかに市民への説明と検討過程での市民参画の手立てを講じるように促していただきたいと思えます。

## 請願の項目

1. 市役所新庁舎の整備に関する構想ならびに計画の検討状況を市民に直接説明し、計画検討過程での市民参画を実施するように、市に求めて下さい。

以上